

2021年9月21日

新規受託項目のお知らせ

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、この度、下記の検査項目を新たに受託開始させていただくことになりましたので、ご案内申し上げます。

今後も弊社では皆様方のご要望にお応えできるよう、検査内容を充実させて参りますので、何卒お引き立ての程、宜しく願い申し上げます。

敬白

記

【新規受託項目】

検査項目名	特異的IgG 鳥	
コード No.	(新システム) (親)13656 (子)22990 判定 (子)22991 セキセイインコIgG (子)22992 ハトIgG	(従来システム) (親)6091 (子)6092 判定 (子)6093 セキセイインコIgG (子)6094 ハトIgG
検体量	血清 0.5mL	
採取容器	B (汎用容器)	
保存方法	冷蔵	
検査方法	FEIA	
基準範囲	判定 : (-) セキセイインコIgG : 8.00未満 mgA/L ハトIgG : 24.00未満 mgA/L	
報告形式	判定 : (-)、(+) セキセイインコIgG、ハトIgG : 2.00未満～最終値	
所要日数	3～4日	
検査実施料/判断料	873点 / 免疫学的検査 144点	
	診察又は画像診断等により鳥関連過敏性肺炎が強く疑われる患者を対象として測定した場合に算定する。なお、本検査が必要と判断した医学的根拠を診療報酬明細書の摘要欄に記載すること。	

本検査は、鳥関連過敏性肺炎の原因である鳥抗原に対する特異的 IgG 抗体価を測定する検査であり、鳥関連過敏性肺炎の診断補助を目的として、2021年6月1日より保険適用となりました。

鳥関連過敏性肺炎は過敏性肺炎の1つで、鳥の飼育や住居環境(住まい近くに鳥が多い環境がある等)、羽毛ふとん、ダウンジャケット、剥製、鶏糞肥料などが原因抗原となって発症します。

その過敏性肺炎は、環境中の特定の真菌、細菌、鳥由来のタンパク質、無機物などの抗原を繰り返し吸い込むことで発症するアレルギー性の間質性肺炎であるため、過敏性肺炎の診断後は原因となる抗原を回避することが重要となります。

本検査によって得られるセキセイインコ特異的 IgG 抗体価、ハト特異的 IgG 抗体価は、鳥関連過敏性肺炎の診断を補助し、過敏性肺炎の鑑別に有用と考えられます。

《検査方法の参考文献》 Shirai T.et al.:Allergol. Int. 70, 208～214, 2021.

【開始時期】2021年10月1日(金) ご依頼分より

以上

尚、詳細につきましては、営業担当者またはインフォメーションまでお問い合わせ下さい。